



かわせみ通信

12月号
2018年12月
Vol.112

発行所  株式会社 東海テクノ ECOLOGY & SCIENCE 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号(〒510-0023)
TEL.059-332-5122(代) <http://www.tokai-techno.co.jp>

道具を使う猿のままか？ ～革新の先へのイマジネーション～

京都大の本庶佑特別教授が、その後多くの生命を救うこととなる免疫メカニズムの発見で今年ノーベル医学生理学賞を受賞した姿は日本人として感慨深いものがあった。遡ること8年前のノーベル物理学賞は、英マンチェスター大のアンドレ・ガイム博士とコンスタンチン・ノボセロフ博士に贈られたが、授賞理由の「二次元物質グラフェンに関する革新的実験」と聞いてピンとくる人は一般には少ないだろう。グラフェンという原子一つ分の厚みしかない炭素のシートはよく、「世界を変える可能性を秘めた新素材」と称される。グラフェン発見後には、世界中の科学者がこの柔軟で伸縮性があり、強さが鋼鉄の100倍もある、しかも透明で電気をよく通し、常温での電子の移動速度はあらゆる物質の中で最速という新素材の製造方法や利用方法の開発に膨大な予算を付けて国家ぐるみでしのぎを削ってきた。量産技術が

確立されれば、超軽量航空機から超効率的な海水淡水化プラントや超高速コンピュータ、宇宙エレベーターに至るまでの夢が広がっている。今のところこの素材の製造には莫大な費用がかかり、研究に必要なほんのわずかな量が製造できるにすぎないが、今後いくつもの壁を乗り越えて



行きつく先はこの道か？

いくに違いない。しかしながら、その科学技術が革新的であればあるほど私たち人類にはその先の未来への想像力が求められる。自らの研究が枯葉剤として戦争に利用され多くの悲劇を生んでしまった植物学者アーサー・ガルストン(米)は、後にこう語っている。「科学でなされるのが必ずしも人類のためになるとは限りませんから。あらゆる発見は善でも悪でもなく、建設的な結果にも、破壊的な結果にもなりうるものだと思います。でも、それは科学のせいではありません。」金融技術、通信技術、バイオ技術、AIなどあらゆる先進的テクノロジーがグローバルに世界を席捲するその上に国家がそれをフォースとして使い始めた昨今では、ますますこのガルストン博士の言葉が響く。テクノロジーは脅威であり幸せの処方箋ではないと子供たちに教えるような世の中にだけはしたくないものだ。

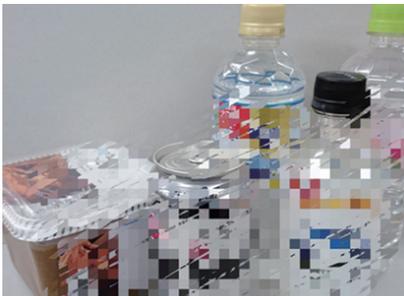
かわせみ通信 読者様への感謝企画 「クイズに答えて三重の味をGET!」 第三弾

今年かわせみ通信を発行して10年目の感謝をこめたプレゼント企画の第三弾！今回も正解者の中からランダムに抽選をして三重県内の弊社お客様が誇る商品をお届けしていきます。今回も皆様にご賞味いただきたい商品を選びました。年末年始の運試しとして、どしどしご応募ください。お待ちしております。

クイズ

下記の飲料の中で、当社の分析の結果BOD(生物化学的酸素要求量)が最も高かったものはどれでしょうか？

1. 味噌汁(41kcal/100mL)
2. 缶ビール(42kcal/100mL)
3. 透明な清涼飲料水(24kcal/100mL)



応募概要

配信から締め切り日までにご応募いただき、クイズに正解された方の中から抽選で30名様に「三重の味」を賞品として発送いたします。

(正解者が賞品数を下回る場合は、不正解者の中から当選者を抽選で選ばせていただきます)

応募締切 2018年12月27日

今回の賞品

醤油でおなじみの「ヤマモリ株式会社」様【タイフード満喫ギフト】

〇〇〇の知らない世界でも紹介され、エスニックレトルトカレーとして大人気のカレーです。8種類のタイフード詰め合わせをご賞味ください。

【内容量】180g(1個あたり)8個入り【賞味期限】約1か年

【箱の大きさ】縦36.5cm×横28.2cm×高さ6cm【配送】通常便(常温)でお届けいたします

応募方法

弊社ホームページよりご応募いただけます。クイズの回答と必要事項をご入力ください。
<http://www.tokai-techno.co.jp/present/>



★当選者の発表

厳正な抽選の上、当選者の方にはご登録いただいたメールアドレスにご連絡させていただいた上、賞品の発送をもって発表とさせていただきます。

社員プチコラム

杉野 大輔 (R&D推進室 室長)

東京で開催中のムンク展に行ってきました。ムンクというと「叫び」が有名なのですが、(というか叫びしか知らなかったのですが...)他にも約100点の作品が展示されており、こんな絵も描いていたのかという驚きの連続でした。ちなみに「叫び」という作品の意味は絵で描かれている人物が叫んでいるのではなく、自然を貫く果てしない叫びに怖れて耳を塞いでいる姿を描いたものだそうです。日々叫びたいことが多いせいか今までこの絵の意味を勘違いしていました(笑)。来年は叫ばなくても良いように日々の仕事を進めて行きたいと思っています。



編集後記

早いもので、今年も年の瀬が近づいてまいりました。平成最後の「今年の漢字」一文字に選ばれたのは「災」。少しさみしい感じではありますが、振り返ると大地震、豪雪、集中豪雨、台風など確かに天災の多い年でした。皆様の一文字はなんだったのでしょうか。私は「忙」の一言でした。皆様にとっても忙しい年末ではないでしょうか。ご自愛いただき、来年もまたよろしく願っています。(みっちー)